

布製マスクコットマスクの配布

5月28日(木)、鏡野町から町内の学校や保育園、保育所へ「みずりん」「おゆりん」のイラストが入った布製マスク4,600枚が配布されました。このマスクは山崎町長が発案したもので、新型コロナウイルス感染症に打ち克つため、子どもたちに人気のある町のマスクコットキャラクター「みずりん」「おゆりん」が描かれていて、少しでもマスクを着けたいという気持ちをもってもらいたいとの思いと、イラストがあることでマスクの上下をわかりやすくするという実用的な意味をもって作成されました。

配布式は鏡野中学校、香々美小学校、かがみの中央こども園で行われ、受け取った生徒や児童は「貴重なマスクをありがとうございます。かわいいイラストの入ったこのマスクを有効に活用させていただきます。」とお礼を述べられていました。



令和2年度愛鳥週間野生生物保護功労者表彰

6月5日(金)、鏡野町役場応接室において、令和2年度愛鳥週間野生生物保護功労者表彰を受賞された牧野保さんに感謝状の贈呈が行われました。この賞状は、長年鳥獣保護管理員として農林水産業に対する被害の防止及び野生生物保護思想の普及啓発に貢献されたことに対して贈られたものです。



特定非営利活動法人マルイ・エンゲージメントキャピタル 小学校活動支援金贈呈式

6月2日(火)、香々美小学校でマルイ・エンゲージメントキャピタルから町内の小学校に対して活動支援金が贈呈されました。この活動支援金はマルイで販売されている寄附付商品を活用しており、寄附付商品1つにつき3円を地域の小学校に寄付するというもので今回で5年目10回目となりました。

贈呈にあたり松田理事長から「みなさんが良く勉強できるようなお手伝いをしたいと思いい寄附付商品をはじめました。この支援金を活用して頑張ってください。これからも続けますのでぜひ頑張ってください」とエールの言葉が贈られました。



美作高校クッキング部からのマスクの寄贈

6月3日(水)、鏡野町役場応接室において、美作高校クッキング部から布製マスク100枚が寄贈されました。このマスクは美作高校クッキング部が、勉強や部活動の合間を縫って作ったものです。

裁縫という普段の活動とは違う分野にいろいろと苦労しながらも、今までお世話になったことに対して何か恩返しができないかという気持ちから今回の作成につながったとのことでした。

マスクを贈呈した美作高校クッキング部の西田歩可さんは「裁縫が初めての部員も多く、ミシンの使い方から学ぶなど苦労しながら作成しました。今はマスクが少ない状態なので、少しでも長く持たせるように使ってもらえたらと思います」と話されました。

今回寄贈されたマスクは、町内の学校関係者へ配られました。

